

無敵の強さを発揮！

スマートファルコン号JBCクラシック連覇達成

11月3日、大井競馬場で開催された「第11回 JBCクラシック」(JpnIIIダート2000m)を岡田スタッド生産のスマートファルコン号(牡6 父コールドアリュール 母ケイシユウハーブ)が、昨年に続いて2度目の優勝を果たしました。

このJBCクラシックは、昨年開催されたJBCクラシックからJpnIII勝を含むダートグレード競走6連勝中であり、そのどれもが「完勝」と呼べるものばかりのスマートファルコンと、国内ではG13連勝中、加えて、春に遠征した世界最高峰のレースの一つであるドバイワールドCでは、驚異的な粘りで2着となっているトランセンダの一騎打ちに注目が集まっています。

レースは、10番ゲートから武豊騎手にやや気合いをつけられながら先頭に立ったスマートファルコン、そこから離されまいと3馬身後方の2番手をトランセンダがマークする形で終始進められました。



そして、勝負どころの第4コーナーで、先に仕掛けたトランセンダの藤田伸一騎手。それでも武豊騎手は慌てることなく、我慢し、直線に向くと、そこから、スマートファルコンにいつもより激しい手綱と鞭のアクションを送り続け、最後はトランセンダに1馬身差まで詰め寄せられたものの、見事優勝を飾りました。

今後のスマートファルコンの最終目標は、来年3月にドバイのメイダン競馬場で開催されるドバイワールドCとなります。この無敵の強さを海外でも遺憾なく発揮してくれることを期待します。

現地ならではの迫力

JASしずない太陽の瞳賞「JASしずない万馬券特別」開催

11月1日、門別競馬場において、ホッカイドウ競馬企業協賛レース「JASしずない太陽の瞳賞」「JASしずない万馬券特別」が実施されました。

第9レースの「JASしずない太陽の瞳賞」では、単勝2.0倍の一番人気に支持されたプロペスタ号が、岩橋勇二騎手の檄に応え、オペラパシコムとの叩き合いの末、最後は一馬身の差をつけ、優勝をしました。

第11レースの「JASしずない万馬券特別」では、川島洋人騎手騎乗のサントアスコット号が馬群から抜け出し、もう勝負が決着したかと思われた瞬間、内側ギリギリを猛追してきたシユンドルゴナを何とかハナ差凌いで優勝しました。

また、この協賛レースにあわせて実施された応援バスツアーには、静内稲作振興会や静内そ菜振興会の会員の皆さんをはじめ、一般町民の方々、JA職員など多くの参加があり、参加者たちは皆、Aibaとはまたひと味違う、現地ならではの臨場感あふれる競馬を楽しんでいました。



表彰は原括也そ菜振興会副会長と日陰由昭稲作振興会会長に務めて頂きました